

(滞在型リサーチ&制作プログラム) 木の作り手プロジェクト

Tree in Progress, lide

滞在期間

2023/10/25(水) - 11/3(金・祝)

リサーチ&作り手

齋藤 悠紀

●ワークショップ

飯豊の森の、木目をうつす

10/28(土)

①10:00-12:00 ②13:00-15:00 事前申込

会場 中津川地区公民館

●展示・発表

11/3(金・祝)

展示 10:00-13:00 発表 12:00-13:00 入退場自由

会場 道の駅いいでめざみの里観光物産館



作家が飯豊町に滞在しながらリサーチし、木々を捉えて描く試みです

飯豊連峰の山麓にある飯豊町は、自然が豊かでその 84% を森林が占めています。

水を蓄え、木材を提供してくれる森は、ブナなどの広葉樹が大半で、秋になると、黄や赤の美しい紅葉を見せてくれます。

このような飯豊の森をリサーチしながら、版画家の齋藤悠紀さんが、滞在制作を行います。

齋藤さんは、銅版画を中心にペン画や多層ガラス絵など幅広く制作を行っています。近年、樹木の印象を素早く描きとるドローイング「Tree in Progress」に取り組み、この一環として今回、樹木をテーマに制作。ただし細やかな表現が可能な銅版画ではなく、ドローイングや飯豊の木材を用いた版画を制作予定です。これまで培ってきた版画とドローイングの経験を活かしつつも、普段とは違う素材による制作へのアプローチ。そして滞在中に触れる生活や文化、五感で感じる自然などが、作家に新たな視点をもたらすことでしょう。

作家の滞在期間中は、参加型の制作ワークショップや展示・発表を行います。催事等を通して、この秋は、身の回りにある木や森について、思いを巡らせてみませんか。

●ワークショップ「飯豊の森の、木目をうつす」 事前申込*

飯豊の木の端材などにインクを乗せて、紙にいろいろな木目をうつしとってみましょう。それをペタペタコラージュしたり、端材に絵を描いてもう一度刷ってみたり。木目には、面白いラインや表情がたくさん隠されているみたいですよ！

日時 10月28日(土) ①10:00-12:00 ②13:00-15:00 定員 各回 10名

会場 中津川地区公民館(飯豊町大字上原 469)

参加費 ¥500(材料費込)

参加方法 事前申込された方が優先ですが、当日参加も歓迎です。汚れても良い服装でお越しください。

*下記「WSお申込」QRコードからお申込みください。

*QRコードからのお申込みが難しい方はメールにお名前、メールアドレス、参加希望回・人数を書き、下記メール宛にお送りください。



●展示・発表 入退場自由

今回の滞在制作の成果を展示・発表します。 *発表は会場およびInstagram @iide_wood_studio でもオンライン配信予定です。

日時 11月3日(金・祝)

展示 10:00-13:00 発表 12:00-13:00

会場 道の駅いいでめざみの里観光物産館(飯豊町大字松原 1898)



齋藤 悠紀 (さいとう・ゆうき)

1982年、埼玉県生まれ。2008年、東京造形大学大学院造形研究科美術研究領域修了。

自らの収集物をテーマに銅版画を制作、近年は描画したガラス面を重ねて表現する多層ガラス絵を手掛けている。モチーフは、貝殻や骨などの漂着物から花札、昔話や民話、古い暦等見聞したもの。そして国内外の美術館、全国の画廊、百貨店などで個展やグループ展を開催してきました。パブリックコレクションは、WillaGallery、NapocaArtMuseum、東京造形大学図書館(東京都八王子市)、うらわ美術館(埼玉県さいたま市)、町田市国際版画美術館(東京都町田市)、国立台湾美術館(台湾)、MECCA DESIGN GROUP(韓国)、日本美術技術漫画博物館(ポーランド)など多数。

◀ 齋藤 悠紀《春流》(Spring flow) 2021年 檜紙に銅版画/雁皮刷り(手漉き古紙)

作家情報▶



オンライン配信
滞在記



WSお申込
お問い合わせ

WSお申込・お問い合わせ先 飯豊町中津川の森人会

E-mail kawauda2014@gmail.com

本プロジェクトは、置賜文化フォーラムの地域文化振興支援事業による補助を受けて実施しています。